

令和4年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	40	学校名	静岡県立科学技術高等学校	記載者	勝又史博
------	----	-----	--------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	日常の学習習慣を定着させる。	授業に主体的に取り組んでいると答える生徒90%以上	B	B	<p>コロナ禍で制約が多い中、85%の生徒が授業に主体的に取り組んでいると回答しており、昨年度より達成率も上がっています。このことから、生徒の学習習慣は積みあがっていることがうかがえます。一方で、授業内容や分かりやすさという点では、今後工夫改善が期待される場所だと感じました。生徒の実態やニーズに合った教材研究や授業の展開の仕方、体験のさせ方等の質の向上を目指していただくことをお願いしたいと思います。そのことが、生徒が授業に主体的に取り組む姿勢をはじめ、他の多くの取組につながっていくものであると思います。</p> <p>ICTを活用した授業改善は、これからの学校教育においては必須の課題ですが、同時に具体物や具体的事象にふれることも、今まで通り大切にしていきたいと思っています。</p> <p>子供の姿を通して保護者が学校の取組を知ることが理想だと思いますが、高校生になると子どもを通して保護者に伝わりにくくなるのではないかと思います。授業で工夫した取組などを保護者に直接伝える方法を工夫改善することで、「学校では、わが子たちのためにわかりやすい授業を行おうと努めている」ことを更に理解していただけるのではないかと思います。</p>
		授業の内容がよく分かると回答する生徒90%以上	B	B	
		教員は授業を大切にするとともに、分かりやすい授業を行おうと努めていると答える保護者80%以上	B	B	
		1日の授業、課外活動、家庭学習の合計時間が10時間達成50%以上。	B	B	<p>時間という基準はわかりやすい基準ではありますが、質的な見方も引き続き大切にしていきたいと思っています。一般的には意欲的であれば取組にかかる時間は長くなってきますが、10時間以上取り組んでいる生徒とそうでない生徒、それぞれに伸びた部分と課題があるように思います。そうした部分についても着目し、更に探究心が向上し、生徒自ら取組の質を高めて</p>

	学習と部活動等の課外活動が両立できていると答える生徒70%以上	B	B	いけるよう、授業や課外活動及び家庭学習への取りませせ方について工夫改善していただければと思います。 学習と部活動等の課外活動の両立については、両立させることの価値を感じている生徒はどれくらいいるのか、そう思っているのに両立できていないのはなぜかを、生徒自身と職員が共に振り返ることが改善につながると考えます。価値があると考えるものを両立させたいという思いは、社会に出ても同じであり、社会に出るとその両立の難しさを実感する場面も多くなります。
	教養力テストの実施	A	A	見通しを持ち、計画的に学習を進める習慣を身に付けることにつながると思われるため、よい取組だと思えます。また、マークシート採点方式やWeb採点方式を取り入れたことも職員の働き方改革につながるため、有効だと思えます。
個々の生徒のニーズに対応した進路指導体制を確立する。	手帳等を活用し、生活習慣を整え、学習時間やスケジュールの管理ができている生徒60%以上	B	B	達成状況が伸びてきたことの要因は、生徒自身が見通しを持って取り組むことに価値を感じるようになってきたことと、継続してきたことにより身に付いてきたことの両方ではないかとうかがえます。今後、一人一台端末の活用など多様性を持たせることで、更に自己管理能力がついていくことを願いたいと思えます。
	自分の将来に対する夢や希望を持っていると答える生徒80%以上	B	A	高校生にとって卒業後の進路は、自分の夢の実現に直結するものだと考えます。その3年生の生徒と保護者に肯定的な回答が多いということは、学校に対する信頼感のあらわれだと感じます。1、2年生は、まだ夢を模索しており、自分の可能性を見つけようとしている段階であると思われるので、達成状況が3年生ほど高くないのではないかと思います。3年生が自信を持ち、夢を持って取り組み、卒業する姿にあこがれをもつようになれば、全体的に肯定的な回答が増えてくるのではないかと思います。3年間を見通し、職員が協働して生徒と接している日々の努力の賜物だと思えます。
	信頼できる先生がいると答える生徒80%以上	B	B	3年生の保護者の評価が高いので、良質な指導が行われていると感じます。
	きめ細やかで適切な進路指導がなされていると答える保護者80%以上	A	A	

		国公立大学合格者70人以上	A	A	実績は素晴らしいと思います。この達成状況を維持していくために、職員の皆様は大変な努力をしてくださっていることとうかがえます。今後ご苦労されることが多いかと思いますが、生徒たちの夢の実現に寄り添う姿のあらわれだと思うので、継続してくださるとありがたいです。
		就職内定率100%	A	A	
	部活動を効率的に実施する。	部活動に参加している生徒80%以上	B	B	<p>職員の皆様につきましては、熱心に取り組んでおられることと思います。そうしたことを感じながらも、あえて学校と同じ評価にさせていただいたのは、職員の皆様の達成率が大幅に向上している一方で、生徒の達成率にあまり変化がないという部分に、まだ改善の余地があると感じたからです。</p> <p>部活動への参加率を上げるためには、部活動のあり方を見直していくことと同時に、部活動に参加しない生徒の理由や状況を把握し、それを踏まえて改善していくことも必要ではないかと感じました。</p> <p>悩みを抱えている生徒も少なくないと思います。不登校、退学者が出ないようなフォローは継続していただきたいと考えます。</p>
		学校が楽しいと答える生徒80%以上	A	A	
		部活動ガイドライン等を踏まえ、適切な指導ができたと答える教員90%以上	B	B	
	生徒主体の活動を推進する。	生徒会が企画した事業の実施 年2回以上	A	A	生徒が自主的に企画・運営する活動は、目的を達成するまでの間に様々な問題解決の場面があり、学びの機会がある。また、力を合わせて目的を達成させた経験は、生徒たちの自信や活力につながる。それを見守る職員の皆様については、生徒の取り組みを支援する立場になるため、より強い連携と個に応じた支援が必要になることと思います。大変だとは思いますが、このような機会は生徒たちにとっては大変貴重であると思っておりますので、次年度以降も大切にしていっていただきたいと思っております。
イ	探究的な教育活動を推進する。	課題研究への主体的な取組を促すとともに、STEAM教育等の教科横断的な取組を実践する。	A	A	どの学科も発表の場を設けたり大学等との連携を行ったりすることにより、生徒の研究成果を価値づけ、更なる探究に向かう機会をつくっているところが良いと思います。また、課題研究のテーマが複数あるということから、生徒の興味・関心に合った主体的な学びを大切にしていること

					<p>が伝わってきます。</p> <p>生徒主体の教科横断的な実践については、指導する側も生徒と同じように探究する姿勢が大事になってくるものだと思います。こうした学びの場は、生徒たちにとってもそれを指導する職員にとっても大変良い学びの機会になり、生徒と指導する職員との距離を縮めていくことになると思うので、ぜひ大切にしていきたいと思っています。</p>
	<p>専門分野の能力を向上させるとともに、必要な資質を育む。</p>	<p>全国大会出場、全国規模のコンクール等の入賞 国家資格等の高度な資格に挑戦させ、受験者数及び合格者数の増加。</p>	A	A	<p>職業や資格及び進学先が細分化される傾向にあり、その対応や研究には時間がかかり、専門的な知識や情報も必要になってくるため、学校側が勤務時間や勤務体制、人材や職員配置等を課題として挙げざるを得ないことが報告書から伝わってきます。働き方改革の視点も必要であるため、なかなか今まで通りにはいかないのではないかと思います。</p> <p>大学進学者だけでなく、技術者等として社会に出ていく卒業生もあるため、可能な限り貴校の環境を活かして、生徒たちに専門分野の能力や資質を育てていただけるとありがたいです。</p>
		<p>全学科で技術者倫理に関する指導を行う。</p>	A	A	<p>どんな分野でも、ミクロ的な視点とマクロ的な視点の両方ができることが必要であると思います。専門性を高めていくと、ミクロ的な視点に偏りがちになると思います。こうように全学科で技術者倫理に関する指導を行うことは、視野を広げることになるため、大切なことだと思います。</p>
ウ	<p>グローバル化への対応と国際理解教育を推進する。</p>	<p>一層充実した研修ができるように検討する。</p> <p>英語検定等の受験者数の増加 (CEFR B1及びA2レベルの生徒数の増加)</p>	A	A	<p>学生たちの将来を考えたとき、グローバル化への対応と国際理解教育は必須であると感じます。小学校の授業にも外国語が入った今、今後ますます外国語の語学力向上が求められてくると思われます。ぜひ今後も継続していただきたいと思っています。</p>

様式第5号

<p>持続可能な社会の一員としての素養を育成する。</p>	<p>挨拶がしっかりとできていると答える生徒95%以上</p>	A	A	<p>学校評議員会で校内を案内していただいたとき、自ら挨拶ができる生徒が多く、感心しました。このことから貴校は、学力・技術力の向上だけではなく、社会の一員としての素養も大切にしていることが伝わってきました。</p>
	<p>身だしなみがしっかりとできていると答える生徒95%以上</p>	A	A	<p>あいさつを意識し身だしなみを整えることに価値を感じる校風は、生徒が安心して学びや活動に専念できる環境の一つでもあります。誰にでもでき、社会に出たときに役立つ素養であるので、引き続き大切にしたいと思います。</p>
	<p>スマートフォン・携帯電話は適切に利用していると答える生徒80%以上</p>	B	B	<p>スマートフォン及び携帯電話の利用については、達成率だけではなく、やはり危機感を持って対応していただきたいと思います。コロナ禍でスマートフォンや携帯電話がますます子どもたちにとって身近なものになり、関連するトラブルも深刻さを増しているような状況にあります。</p>
	<p>生徒一人当たりの年平均図書貸出冊数2冊以上</p>	A	A	<p>デジタル化が進む中ですが、本を読む習慣を大切にいただいていることはありがたいと思います。情報収集のツールとしてだけではなく、感性や人生観を醸成するものとして、今後も大切にしていってほしいと思います。</p>
	<p>図書館来館者数延べ10,000人以上</p>	B	B	<p>今後延べ来館者数が目標人数以上になることを期待して、Bとさせていただきます。</p>
<p>インターンシップ、保育体験実習に参加した生徒の満足度90%以上</p>	A	A	<p>生徒を思う職員の皆様の水面下での下地作りが生徒の頑張りを支えたのもと思われます。生徒がそれに応じて精一杯努力をし、達成感を得られたことはうれしいことだと思います。</p>	
<p>資源の大切さを意識させるとともに3Sの意味を理解し、積極的に取り組んでいると答える生徒70%以上</p>	B	B	<p>3Sについては、企業でも大事にされていることだと思います。社会に出る前から身に付ける教育をしてくださっているのは、生徒たちにとって幸せなことだと思います。中にはまだ必然性が十分感じられない生徒がいるかもしれませんが、学校教育の中には、生徒が社会に出たときに「やっておいてよかった」と感じることもあるかと思っています。</p> <p>引き続き取り組んでいただけるとありがたいです。</p>	

		交通ルールの遵守に心掛けていると答える生徒90%以上	A	A	<p>道路交通法が改正される中、通学手段としてのウエイトが大きい自転車通学者も含めた達成状況が 93.8%で、昨年度よりも達成率が上がり、更に目標も上回っている状況は、保護者にとっては大きな安心につながると感じます。</p> <p>自転車通学者が多い静岡市では、以前は高校生の自転通学者のマナーについて問題になっていたため、現在の状況に至るまでには様々な指導の工夫があったことと思われます。</p>
エ	カリキュラム・マネジメントを推進する。	新しい教育課程の編成	A	A	<p>新教育課程への対応は、社会のニーズへの対応であり、生徒たちの将来に対する責任でもあると思うので、自己評価がAであることは、学校の信頼につながるものだと思います。</p>
		令和5年度から学校運営協議会制度を導入	B	B	<p>高等学校の学校運営協議会制度は、小中学校と異なりエリアが広いため、基盤づくりが難しいものだと思います。しかし、地域と連携して学校運営が行われることは、生徒たちにとっては、自分たちの取組を価値づけてくださる方々が常に身近にいるようになるということだと思います。また、卒業後すぐに社会に出ていく生徒たちがいることを考えると、学校が閉鎖的ではなく、一般市民に開かれている状況はかなり強みになると思います。</p>
	特別支援教育体制を確立する。	教育相談だよりを、月1回以上発行	A	A	<p>生徒一人一人を大切にしてくださっていることが、このような取組からもうかがえます。自分が大事にされていると感じる生徒は、きっと学校が安心できる場となり、好きになると思います。高等学校でここまでのことをしてくださっていることをありがたく思います。ぜひ今後も継続をお願いします。</p>
		1年生全員を対象としたカウンセリングを実施	A	A	
		個別の指導計画及び支援計画の作成	A	A	
	教職員の資質・能力の向上を支援する。	研修の成果を授業改善や学校運営に役立てた教員90%以上	A	A	<p>専門的な知識の獲得と授業力向上の両方を目指して研修を進めてくださっていることは、大変うれしく思います。この両輪を研修で大切にされていることが、貴校の授業のわかりやすさにつながってくるものと思います。</p> <p>教員は、自分の授業を客観的に見ることが難しいので、授業参観が授業者・参観者共に自分の授業を客観的に</p>
		授業参観した教員70%以上	B	B	

	<p>授業力自己診断を実施した教員90%以上</p> <p>多様な測定ツールを用いてPDCAサイクルによる授業改善に取り組んだ教員90%</p> <p>観点別評価を適切に実施していると答える教員60%以上</p> <p>日常的に授業でICT機器を活用した教員60%以上</p>	<p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>見つめ直す機会となります。</p> <p>教員の皆様には、効果的、魅力的な授業のために日々努力していただきありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>観点別評価を大切にすることは、やはり生徒一人一人にわかりやすい授業を行うことにつながると思います。</p> <p>成績処理システムの改修等が課題になっているようですが、ぜひ生徒一人一人の学びに活かすという捉え方で引き続き取り組んでいただければと思います。</p> <p>一人一台端末の活用が始まり、今後ICT機器の活用がますます求められるようになりますが、授業での有効な活用の仕方について引き続き検討していくと共に、引き続き直接体験や対話を大切にしたい授業をお願いします。</p>
教職員のメンタルヘルスの増進及びコンプライアンスの徹底を図る。	メンタルヘルス及びコンプライアンスに関する研修を随時実施	A	A	<p>教職員の体調不調は生徒にも影響を与えかねません。特にメンタルヘルスについては、学校（教育委員会）として十分な対策をお願いします。</p> <p>自分事として捉えるために声掛けや研修を継続的に行っていくことは意識の継続につながると思いますので、今後も大切にしていきたいと思えます。また、併せて引き続き職員同士が相談したり情報共有したりできる風通しのよい職場環境づくりを進めていきたいと思えます。</p>
学校教育活動に関する広報を充実する。	ホームページを月15回以上更新	A	A	<p>素晴らしいと思えます。この熱意は、生徒だけでなく、保護者、地域の方々、幅広いエリアの方々にも伝わっていると思えます。忙しい中、地道で大変な作業だと思えますが、更に発信される内容が充実することを期待しています。</p>
	ものづくり教室の実施や校外でのイベント等への参加を推進する。	A	A	<p>一般市民や小中学生を対象とした教室やイベントに参加することは、自分たちが学んできたことをどうしたらわかりやすく伝えることができるのかという、科学コミュニケーションの力が必要になります。また、コミュニケーションをしていく中で、新たな課題もたくさん見つかるものです。お忙しい中、このような場への参加を推進してくださる職員の皆様の熱意をありがたく思います。</p>

様式第5号

校務の円滑、かつ適切な実施を推進する。	全職員が校務で共有サーバを使用する。	A	A	働き方改革の観点でも大事なことだと思います。本年度のような長時間の停電等不測の事態への対応、情報セキュリティ対応等、今後も課題が尽きることはないと思われませんが、ぜひ職員の皆様にとって使い勝手のよいシステムの構築を推進していただきたいと思います。
	業務改善を心掛けたとする教員50%以上	A	A	業務の効率化や時間外勤務の見える化などの工夫が、職員の意識の変容につながっているのだと思います。多忙化解消は、教職員の心身の健康維持にもつながってきます。今後も業務改善を心掛け、心身共に健康で生徒に向き合い、教育の質の向上を目指していただけると嬉しいです。
	施設・設備の点検の日を設けPFI担当者との点検月1回以上実施 施設・設備の整備、省エネ・省資源への取組を進め、コスト意識を醸成し、消費電力量を削減	B B	B B	施設・設備関係については、学校単独では解決しない課題が多いものと思われます。生徒が安心して学校に通学している状況を考えると、月1回の点検だけでなく、日常的に生徒の健康と安全を最優先した取組をしてくださっていることがうかがえます。学校単独では解決しない課題については長期的な計画をもとに、今後も引き続き取り組んでいただければと思います。 コスト意識については、教員のウイークポイントだと感じます。互いに気を付け合い、声を掛け合いながら意識向上を図っていくことが大切だと思います。